


えぐちーず (部内資料)

連絡先 日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷 4-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax 3412-7480 メール eguchi3604@gmail.com

 フェイスブックしています

ホームページ <http://egucheese.net/link>

2017年9月1日

横浜市へ 区民の皆さんと コミュニティバスの 視察へ行きました

9月1日に区議団主催の「横浜市交通サポート事業」の視察に行ってきました。

マイクロバスでを借り上げ、砧・烏山・桜上水・桜丘などから総勢21名が参加しました。

今年度から砧をモデル地区に、区と住民の方々による交通不便地域解消の検討が始まりました。区は、行政と住民の共同により、地域の足を実現した横浜市を先進自治体例として紹介しているのので、今回実態を学ぼうとお伺いしました。



↑みんなで乗車体験

まず横浜市旭区役所にて、横浜市道路局と運行委員会の町会長さん方からお話を伺いました。こちらの事業は地域住民の方々の方がまさに主体です。

町会長さんからは、「とにかく立ち上げ時が最も大変だった。市がお金を出すのは、ほぼ試験走行時だけだから、乗車賃300円で1日130人の採算ラインを保つことが事業継続のカギ。採算が取れるようになったのは、降車するときバス停にこだわらず、降りたい所で降りれるようになったことが大きい。これは、市も国交省も了解している。実際には採算ラインを割ることもあるが、運行事業者のふたえ交通(地元タクシー会社)が、地域貢献という意味から引き受けてくれた」等お伺いしました。

その後、ワゴン型コミュニティバスの四季めぐり号の乗車体験。狭い道路と山坂の多いこの地域をワゴン車が縫うように住宅街を駆け巡ります。13名定員の四季めぐり号にお客さんが乗り切れないときは同じ300円でふたえ交通からタクシーが直ちに配車されます。

視察をすることで、住民主体は素晴らしいが、やはり区としての運行経費補助は事業継続のためにも必要と痛感しました。これから区議会は9月議会が始まります。議会質問にこのたびの視察の成果を生かしていきます。

看板に見えますが、バス停です。バス停をどこに置くか、また運行ルートも住民主体で決めています。



外環道問題 横浜市 首都高の 地盤沈下の現場を 視察しました

8月30日午後、横浜市の首都高横浜環状北線馬場出入口南方面の地盤沈下現場を見るため、視察へ行きました。

いま、喜多見・大蔵では、シールド工法により大深度トンネルを掘り進め、練馬まで16キロを通す外環道計画が進行中です。

成城の住宅街の真下を掘り進めることで、地盤沈下等様々な問題が起きるのではないか？補償問題等、住民の方々から不安が寄せられ、また区議会にも陳情が出されています。

現地では、最大13センチの地盤沈下が起きています。

横浜線（電車）が走る擁壁に大きなひび割れ（右上写真）、また民家の崩れた壁やマンホールが浮き上がった現場等被害の状況を目の当たりにしました。（下の写真）

現場をみて、緑と水が豊かな国分寺崖線を貫く外環道にも同じことが起きる…のでは、と大いに危惧しました。今回の視察の成果を今後の議会質問に生かしていきたいと思います。



9・10月の朝の駅頭宣伝計画

*時間は7時40分から1時間程度の予定

9月8日（金）経堂駅（コルティ側）

13日（水）千歳船橋駅

15日（金）祖師ヶ谷大蔵駅

27日（水）喜多見駅

29日（金）二子玉川駅

10月3日（火）成城学園前駅（成城ホール側）